

税理士講座

2027 年合格目標

受講ガイド

[通学・通信 共通]



税理士試験について

必ずご確認ください

税理士試験は毎年1回、8月上旬～8月中旬に実施されます。
本試験の流れにつきましては下記にご案内いたしますが、日程等変更となる場合もございますので予めご承知おきください。なお、TACでは受験願書の配布、受験申込の代行手続きは行っておりません。受験申込手続きは必ずご自身で行っていただきますようお願い申し上げます。

◎ 受験要領の発表

例年4月上旬、官報にて発表

◎ 受験願書の交付

例年4月中旬～5月上旬、各国税局および沖縄国税事務所にて

◎ 受験申込受付

例年4月下旬～5月上旬、各国税局および沖縄国税事務所へ受験者ごとに郵送
※令和8年度(第76回)税理士試験より、受験申込み、結果通知の確認をオンラインで行うことができる専用のサイトが開設されます。
これにより、受験願書の提出方法として、従来の郵送に加え、新たにオンライン申請が可能になります(下記、国税庁ホームページ参照)。

◎ 受験料（令和7年度例）

受験科目数	1科目	2科目	3科目	4科目	5科目
受験料	4,000円	5,500円	7,000円	8,500円	10,000円

※受験料は変更となる可能性があります。

◎ 試験日

例年8月上旬～8月中旬の平日の3日間
※令和8年度は、8月上旬の予定です。

◎ 受験資格

会計科目(簿記論、財務諸表論)：受験資格の制限はありません。
税法科目：学識、資格、職歴等のいずれか一つの要件を満たせば受験資格を有します。
受験資格の詳細は、国税庁ホームページをご覧ください(下記参照)。

◎ 合格発表 ※変更となる場合があります。

例年11月下旬～12月上旬
受験者については、結果通知書が送付されます。一部科目合格者は、受験地・受験番号が国税庁ホームページに掲載されます。また、5科目合格者には合格証書が郵送され、受験地・受験番号が官報および国税庁ホームページに掲載されます。

税理士試験に関する詳細は、下記までお問い合わせください。

(国税庁内) 国税審議会 税理士分科会
〒100-8978 東京都千代田区霞が関3丁目1番1号
TEL 03-3581-4161 (代表)
国税庁ホームページ <https://www.nta.go.jp/>

はじめに

この度は、TAC税理士講座をご受講いただき、誠にありがとうございます。本書は、当講座を受講される方のための教材・各種フォローサービス等に関するご案内をまとめた“講座別受講ガイド”です。別途お渡ししております『TAC利用ガイド』と併せてご覧ください。

TACは合格のために必要な知識や受験テクニックを受講生の皆様に効率よく提供することにより、最短距離で合格していただくことを第一の目的と考えております。本書ではこれから税理士試験合格を目指すにあたり、当講座の利用方法や活用方法をご案内いたします。

皆様が合格を勝ち取れますよう、TAC税理士講座の講師・スタッフ一同、精一杯サポートさせていただきます。

TAC税理士講座

税理士講座 受講ガイド

CONTENTS

通学メディア・通信メディア共通編

1. 会員証について	P 4
2. 講義・教材について	P 6
3. 演習・答練について	P10
4. 全国公開模試について	P11
5. 質問・相談について	P12
6. 各種フォロー・サービス対応表	P14
7. 各種サービス提供期限一覧	P16
8. 教育訓練給付制度について	P17
9. 科目・コース・メディアの変更	P21
10. 本科生・パック生について	P23

教室講座編

1. 欠席した場合のフォロー	P33
2. もう一度講義を受講したい場合	P35
3. 答案の採点および成績発表について	P36

ビデオブース講座編

1. 答練等の受講、答案の採点および成績発表について	P39
2. 答練・演習の教室振替について	P40
3. もう一度講義を受講したい場合	P40

通信メディア編

1. 教材発送について	P43
2. 採点・答案作成指導の流れ	P44
3. 学習サポート機能	P47
4. スクーリング	P48

日程表

1. 日程表のご案内	P51
------------	-----

巻末

1. N E X T 割引のご案内
2. お問い合わせ先一覧
3. T A C M A P

マイページ登録について

TAC WEB SCHOOL マイページは、すべての受講生の皆様に登録していただく必要がございます。
登録をまだ行われていない場合は、
[\[https://portal.tac-school.co.jp\]](https://portal.tac-school.co.jp) にアクセスし、⇒[ログインページへ]⇒[マイページ登録]と進み、画面の案内に従って登録をお願いいたします。

以下については別冊「TAC利用ガイド」またはTAC WEB SCHOOLをご覧ください。

通学メディア・通信メディア共通編

1. TAC 利用上の注意事項
2. 講座開始日と受講期間
3. 会員証について
4. TAC WEB SCHOOL について
5. 施設利用上の注意事項
6. 自習室について
7. 日程変更について
8. 災害時の対応・行動
9. 教材を紛失した場合
10. 住所等を変更される場合 ※
11. 在籍証明書・履修証明書について

教室講座・ビデオブース講座編

1. 教室講座受講上の諸注意
2. 教材の受け取り
3. ビデオブース講座受講上の諸注意
4. ビデオブース利用方法

通信メディア編

1. 教材発送について
2. WEBでの受講方法
3. TAC WEB SCHOOL での受講方法
4. Schoo Swing での受講方法

※住所等を変更される際にご提出いただく「変更届出書」は別冊の『TAC利用ガイド』巻末にあります。

通学メディア・通信メディア共通編

1. 会員証について	P 4
2. 講義・教材について	P 6
3. 演習・答練について	P10
4. 全国公開模試について	P11
5. 質問・相談について	P12
6. 各種フォロー・サービス対応表	P14
7. 各種サービス提供期限一覧	P16
8. 教育訓練給付制度について	P17
9. 科目・コース・メディアの変更	P21
10. 本科生・パックス生について	P23

1 会員証について

TAC受講生となった方には、「会員証」を発行いたします。会員証はお申込み手続き終了後、各校窓口でお渡しします。郵送申込の場合は、ご自宅に郵送します。

e受付でお申し込みの場合、通学講座の場合は各校窓口でお渡しします。通信講座の場合はe受付のマイページにe会員証を表示します。

※e会員証ではTAC各校舎でのサービスを受けることができません。受付窓口にて会員証の発行を受けてください。

会員証は、皆様がTACの受講生であることを証明する大切なものです。TACご利用の際には、常に携帯していただき、以下の注意事項を遵守してください。

1. 会員証について

- (1) 会員証は本人のみに有効であり、他人へ譲渡または貸与することはできません。
- (2) 会員証を紛失した場合には、受付窓口にて再発行いたします。なお、再発行には、別途手数料がかかります。この場合、再発行日以前の講義は欠席分を含めて、日程表どおり出席したものとして扱います。また、テキスト等の教材もお渡し済みとして処理いたします（P5「**5. 会員証を紛失した場合**」参照）。
- (3) 会員証を不正に利用させた場合、並びに不正に利用した場合には、当該コース正規受講料の3倍の料金を申し受けます。
- (4) 会員証に表示されている有効期限を過ぎると講義の受講、教材の受取り、フォロー制度や自習室の利用は一切できません。

2. 会員証はこのような場面で使用します

- (1) 教室講義への出席時やビデオブースを利用する時には、必ず会員証を提示してください。
 - ・教室での講義を受ける時は、会員証は必ず机の上に出しておいてください。講師・スタッフが専用スキャナーによる会員証記載の二次元バーコードのスキャンを行います（通信メディアの方がスクーリングを利用する際も同様です）。
 - ・ビデオブースを利用する場合には、視聴前に受付に会員証を提示し教材をお受け取りください。

※もし会員証を忘れてしまったら…

講義を受ける前に、受付にて「受講証明書(仮受講証)」の交付を受けてください。

「受講証明書(仮受講証)」の交付がない場合には、講義の受講ができません。

- (2) 教材を受け取る際に、必ず会員証を提示してください。テキスト等使用教材につきましては、受付にてお渡しします。
- (3) クラス振替出席フォローをご利用の際には、会員証をお持ちください。専用のスキャナーによる会員証記載の二次元バーコードのスキャンを行います。

- (4) 自習室利用の際にも会員証を携帯してください。
スタッフが会員証の確認・スキャンを行います。
また、お申込みのコースによっては自習室をご利用できない場合があります。詳しくは、別冊の『TAC利用ガイド』通学メディア・通信メディア共通編「**6**自習室について」をご確認ください。

3. 会員証の有効期限

- (1) 会員証には、有効期限が表示されています。TACサービスのご利用は、すべて有効期限内に完了してください。また、自習室のご利用も有効期限内となります。
(2) 会員証の有効期限を過ぎた場合には、教材の受け取りなど「該当する目標年度の各種サービス」のご利用は一切できなくなりますのでご注意ください。
(3) 会員証の有効期限は、TACサービスの利用期限となります。受講契約の解約・返金時に算定の基礎となる受講期間とは異なりますのでご注意ください。

4. 会員証の書替手続き

お申込みの講座・登録コースによっては、会員証の書替手続き（全国公開模試の受験票発行など）が必要となる場合があります。詳しくは専用の案内書をご確認いただくか、受付窓口にてご確認ください。

5. 会員証を紛失した場合

- (1) 受付窓口で再発行いたします。その際、①「身分証明書（運転免許証など）」②「証明写真（3cm×2.4cm）2枚」③「印鑑」をご用意ください。
(2) 再発行の際は、再発行手数料[500円（税込）]がかかります。
(3) 再発行日以前の講義は欠席分を含めて、登録コースの日程表どおりに出席したものとして扱い、教材はお渡し済みとして処理いたします。
(4) 再発行会員証のお渡しは申請書受取日から原則3日後となります。
(5) 万が一紛失した会員証が、再発行申請後に見つかった場合でも返金できません。

2 講義・教材について

1. 講義一覧

各コースで実施する講義に●印がついています。

講義名	内 容	初学者 対象					受験経験者 対象			
		完全合格＋上級コース	基礎マスター＋上級コース	ベーシックコース	年内完結＋上級コース	速修コース	年内上級講義＋上級コース	年内上級演習＋上級コース	上級コース	チャレンジコース
基礎・応用期	基礎・応用講義	●	●	●	●	●				
	年内上級講義						●			
	実力テスト	●	●	●	●	●	●			
	年内上級演習							●		
	上級講義	●	●		●		●	●	●	
	上級演習	●	●		●		●	●	●	
ベースアップ期	チャレンジ講義									●
	チャレンジ演習									●
直前期	直前対策講義	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	実力完成答練	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	全国公開模試	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	直前予想答練	●	●	●	●	●	●	●	●	●

2. コース別配付教材一覧

TACでは、それぞれのコースにおいて対象者に合わせたオリジナル教材を提供しています。使用する教材の内容をよく把握し、上手に活用してください。

※2026年2月現在の予定です。使用する教材については、本試験の傾向を踏まえて変更する場合がございます。

※教材の訂正情報について

配付教材に訂正が判明した場合は、〔TAC WEB SCHOOL〕⇒〔学習フォロー〕⇒〔正誤情報〕にて公開いたしますのでご確認ください。

1 完全合格＋上級コース・基礎マスター＋上級コース・ベーシックコース・年内完結＋上級コース 年内上級講義＋上級コース・速修コース

◆教材紹介 ※上級コースの教材は、P8 **3 上級コース(12～4月)**をご参照ください。

テキスト	学習の中心となる説明用教材です。図表をふんだんに盛り込むことにより、全体像やポイントを分かりやすく解説しています。また、設例を多く入れることにより、1つ1つの内容を確認しながら学習を進めることができますようになっています。
理論テキスト (財務諸表論・固定資産税のみ) ※年内上級講義コースは配付なし	理論学習の中心となる説明用教材です。覚えるべき理論の内容を「基本論点」として示し、関連規定や図表を用いて詳しく解説しています。
トレーニング・ トレーニングシート (シートは固定資産税・事業税・ 国税徴収法以外の科目)	テキストで学習した内容を問題形式で確認するための演習用教材です。テキストと連動し、段階的にレベルアップできるようになっています。 ※トレーニングシートは解答用紙です。TAC WEB SCHOOLでダウンロードできます(別冊の『TAC利用ガイド』通信メディア編 2 WEBでの受講方法 参照)。
ポイントチェック (簿記論・消費税法以外の科目) ※年内上級講義コースは配付なし	テキストや理論テキストでマスターすべき重要事項を抜き出したポイント整理用教材です。余白などに講義の板書や自分なりの整理を加えることにより、知識の整理や演習後のチェックなど自由に活用できます。
理論マスター (税法科目のみ)	基本となる理論をテーマごとにまとめた暗記用教材です。学習の進度に合わせて使用し、暗記できるようになっています。
理論ドクター (法人税法・所得税法・相続税法・消費税法のみ)	本試験に出題された理論や今後の出題が予想される理論などの応用理論を、テーマごとにまとめた問題集です。複数のテーマに係る理論も掲載し、他のテーマとの関連を理解できるようになっています。
ミニテスト ※年内上級講義コースはなし	前回の学習内容を中心に、前回までの学習内容が消化できているかを確認するための復習テストです。基本的に前回の学習内容が消化できていれば満点が取れるようになっています。
実力テスト	一定期間ごとに、既に学習した内容が消化されているかを確認するとともに、総合的な理解度をチェックするための復習テストです。本試験の出題に対処するための第一歩として、総合問題形式の出題となっています。

2 年内上級演習＋上級コース

◆教材紹介 ※上級コースの教材は、P8 **3 上級コース(12～4月)**をご参照ください。

年内上級演習	受験時の実力維持を目的とした演習用教材です。必ず押さなければならない事項を演習に織り込み確認することによって基礎力の充実を図っていきます。この上級演習の結果からもう一度理論、計算の不明箇所、苦手項目の克服、弱点補強へとフィードバックしてください。
理論マスター	基本となる理論をテーマごとにまとめた暗記用教材です。学習の進度に合わせて使用し、暗記できるようになっています。
ポイントチェック (消費税法以外の科目)	テキストや理論テキストでマスターすべき重要事項を抜き出したポイント整理用教材です。余白などに講義の板書や自分なりの整理を加えることにより、知識の整理や演習後のチェックなど自由に活用できます。

3 上級コース（12～4月）

◆教材紹介

上級テキスト	計算学習の中心となる説明用教材です。ポイント整理の形式により基本論点や応用論点の内容を整理し、また、設例で内容を確認しながら学習を進めることができますようになっています。
理論テキスト (財務諸表論・固定資産税のみ)	理論学習の中心となる説明用教材です。覚えるべき理論の内容を「基本論点」として示し、関連規定や図表を用いて詳しく解説しています。
トレーニング・ トレーニングシート (シートは固定資産税・事業税・ 国税徴収法以外の科目)	上級テキストで学習した内容を問題形式で確認するための演習用教材です。上級テキストと連動していますので、上級演習を解く前に学習内容の確認用として利用できるようになっています。 ※トレーニングシートは解答用紙です。TAC WEB SCHOOL でダウンロードできます(別冊の『TAC利用ガイド』通信メディア編「2WEBでの受講方法」参照)。
ポイントチェック (簿記論・消費税法以外の科目)	上級テキストや理論テキストでマスターすべき重要事項を抜き出したポイント整理用教材です。余白などに講義の板書や自分なりの整理を加えることにより、知識の整理や演習後のチェックなど自由に活用できます。
理論マスター (税法科目のみ)	基本となる理論をテーマごとにまとめた暗記用教材です。学習の進度に合わせて使用し、暗記できるようになっています。
理論ドクター (法人税法・所得税法・相続税法・消費税法のみ)	本試験に出題された理論や今後の出題が予想される理論などの応用理論を、テーマごとにまとめた問題集です。複数のテーマに係る理論も掲載し、他のテーマとの関連を理解できるようになっています。
上級演習	講義の回でインプットした内容を中心に、基本論点から本試験を意識した応用論点までの内容を確認し、また、解答作成のテクニックを養成することを目的とした総合的な演習問題です。

4 チャレンジコース（4月）

◆教材紹介 ※5～7月は、下記「5 直前対策(5～7月)」をご参照ください。

チャレンジ講義テキスト	直前対策前に知識や解法の確認を行う説明用教材です。
チャレンジ演習	知識の底上げや整理・補強を行うための復習テストです。
理論マスター (税法科目のみ)	基本となる理論をテーマごとにまとめた暗記用教材です。学習の進度に合わせて使用し、暗記できるようになっています。
理論ドクター (税法科目のみ)	本試験に出題された理論や今後の出題が予想される理論などの応用理論をテーマごとにまとめた問題集です。複数のテーマに係る理論も掲載し、他のテーマとの関連を理解できるようになっています。

5 直前対策（5～7月）

◆教材紹介

直前対策テキスト	本試験に必要な不可欠な内容を織り込んだテキストです。税制改正や試験傾向などを徹底分析したことによる最新情報と合わせて、必ず押さえるべき論点の確認もできるように構成されています。
実力完成答練・ 直前予想答練 (自己採点)	5月からの本試験直前期で実施する問題演習(答練)です。実力完成答練は、4月までの学習内容が確実に身に付いているかを確認することを目的とした答練です。また、直前予想答練は、実力完成答練で確認した学習内容を本試験で発揮できるように、本試験レベルの予想問題を解くことにより合格のための総仕上げを行うことを目的とした答練です。
全国公開模試	全国規模で実施される公開模擬試験です。相当数の受験生が参加するため、その中で自分の実力が確認できると同時に、その結果を踏まえ、本試験までに“やるべきこと”を明確にすることができます。
合格情報レジュメ	本試験までの過ごし方や最終予想など、最終チェックのための教材です。

3. デジタル教材

教 材 名	デジタル教材 (PDF版)
テキスト	●
トレーニング	●
トレーニングシート	●
ポイントチェック	●
理論マスター・理論ドクター	●
テスト・答練類	●

※対象となる教材は、科目・コースにより異なります。

デジタル教材 (PDF版)	[TAC WEB SCHOOL] ⇒ [学習サポート] ⇒ [教材] にPDFデータで掲載しています。
------------------	---

3 演習・答練について

◆実施テスト類一覧

テスト名	解答時間目安	返却方法		
		教室講座（※2）	ビデオブース講座（※2）	通信講座（※2・3）
ミニテスト ※講義各回実施	10分程度 （※1）	実施日の1週間後に 教室講義にて返却	－（自己採点）	－（自己採点）
実力テスト	60～120分 （※1）	実施日の1週間後に 教室講義にて返却	答案提出後、約2週間で 校舎の返却BOXにて返却	TAC到着後、約2週間で TACより返却
年内上級演習	60～120分 （※1）	実施日の1週間後に 教室講義にて返却	答案提出後、約2週間で 校舎の返却BOXにて返却	TAC到着後、約2週間で TACより返却 提出対象 演習（奇数回） （偶数回は自己採点）
上級演習	60～120分 （※1）	実施日の1週間後に 教室講義にて返却	答案提出後、約2週間で 校舎の返却BOXにて返却	TAC到着後、約2週間で TACより返却 提出対象 上級演習（奇数回） （偶数回は自己採点）
チャレンジ演習	90～120分 （※1）	－（開講なし）	－（自己採点）	－（自己採点）
実力完成答練	120分	実施日の1週間後に 教室講義にて返却	答案提出後、約2週間で 校舎の返却BOXにて返却	TAC到着後、約2週間で TACより返却
全国公開模試	120分	会場受験・自宅受験とも採点済み答案の返却は7月上旬発送予定 （詳細は専用案内書にてご確認ください）		
直前予想答練	120分	－（自己採点）	－（自己採点）	－（自己採点）

※1 解答時間は科目・コース・実施回により異なります。

※2 受講をされたクラスの校舎にて返却を行います。他クラスの校舎での返却は行いません。

※3 転居などでご住所に変更がございましたら、別冊の『TAC利用ガイド』巻末の「変更届出書」にご記入いただき各校受付窓口もしくは郵送・FAXでご提出ください。

（注1）本試験前後、お盆休み、年末年始、ゴールデンウィークの期間につきましては、返却に上記記載よりも日数がかかる場合がございます。

（注2）答案の提出は、各回1回のみとなります。

4 全国公開模試について

6月上旬～中旬に全国公開模試を行います。

TAC税理士講座を7月分までお申込み、あるいは直前対策講座をお申込みされた方は、申込科目について、カリキュラムに全国公開模試が含まれています。

会場受験のほか、自宅受験を選択することもできます。ただし、一定の期日までに会場選択等の手続（受験票発行手続）が必要となります。

また、通信生の場合は自宅受験が標準の受験形態となりますが、一定の期間までに会場選択等の手続を行えば、会場受験へ変更することができます。自宅受験を希望される場合には、手続は不要です。

実施会場・手続期限などの詳細は、4月上旬発行予定の全国公開模試専用案内書をご確認の上、お手続きをしてください。

※TACの全国公開模試は一般教育訓練給付制度の対象外となります。給付制度上の出席対象および提出課題には含まれません。

5 質問・相談について

学習上の疑問点や学習の進め方などの相談事項は、分からないままにせず、解決しておきましょう。学習メディア・受講コースによって質問体制は以下のご用意しております。

1. 教室講座（教室講座のみ）

講義後に質問・相談を受け付けますので、講師に直接お声掛けください。

2. 質問電話（資料通信講座を除く全メディア）

※資料通信講座にてご受講中の方は、ご利用になれません。

※オプション講座のみをご受講の方は、ご利用になれません。

電話による質問及び学習相談をお受けしております。

本年度税理士講座の受講確認のため、電話の際は最初に**会員番号・お名前**をお知らせください。

●実施日程

科目によって電話をお受けできる時間帯が異なります。開設時間・電話番号等の詳細につきましては、「TAC WEB SCHOOL」の「講座からのお知らせ」に掲載されている《質問電話スケジュール》にてご確認ください（受講期：8-12 月期、1-4 月期、5-7 月期毎に更新予定）。

●利用可能期間

申込コースの受講期間内の実施日程でご利用いただけます。

※期別（8-12 月期、1-4 月期等）でお申込みの方は各期間内のみ利用可

●注意事項

- ・質問内容は、2027 年合格目標で受講中の科目に関し、2027 年 7 月までに実施する講義および TAC 税理士講座より提供する教材に関する事項に限ります（過年度の教材、市販書籍等（TAC 出版物を含む）、TAC 税理士講座以外で使用されている教材、受講していない科目および実務に関する内容など試験範囲を逸脱した質問にはお答えできません）。
- ・質問が集中すると、質問時間帯であっても通話中となる場合もございます。予めご了承ください。
- ・なお、数多くの皆様にご利用いただけるよう、質問電話は 1 日につき 1 回までとさせていただきます。また 1 回あたりの通話時間は 20 分以内を目安とさせていただきます。
- ・質問の際、講師指名等には応じかねますので予めご了承ください。
- ・年末年始、確定申告時期、ゴールデンウィーク、全国公開模試期間中ならびに本試験前後等の期間につきまして、お休みをいただく場合や時間帯等が変更になる場合がございます。変更等がある場合には、「TAC WEB SCHOOL」にてご案内いたします。

3. 質問メール（全メディア共通）

※オプション講座のみをご受講の方は、ご利用になれません。

『TAC WEB SCHOOL』⇒〔学習サポート〕⇒〔質問メール〕にてお受けしております。
質問回数は受講期間に応じて、お1人1科目につき、次のように設けさせていただきます。
2027年目標の最終質問受付日は2027年7月上旬に『TAC WEB SCHOOL』の『講座からのお知らせ』にて公表いたします。

受講期間	質問回数	質問内容
2026年5月～12月	15回(資料通信5回)	2026年5月～12月で学習する講義・教材内容に関して
2027年1月～4月	15回(資料通信5回)※	2027年1月～4月で学習する講義・教材内容に関して
2027年5月～7月	5回(資料通信5回)	2027年5月～7月で学習する講義・教材内容に関して

※チャレンジコース（4月期）の質問回数は5回です。

- ・2026年の税理士本試験および年末年始の期間は、お休みをいただきます。詳細は時期になりましたら『TAC WEB SCHOOL』にてご案内いたします。
- ・質問メールをお送りいただく前に、「よくある質問」にて質問したい内容と同様の回答がないかをご確認ください。
- ・質問メール1件につき、質問事項は1項目にてお願いします。
1件のメール内で複数項目の質問を送信された場合には、1項目のみの回答とさせていただきます。
- ・質問はできるだけ具体的をお願いします。
「〇〇〇が分かりません」だけのような漠然とした質問では、お答えできない場合があります。
また送信時は、回答をスムーズに行うために質問をする教材名の詳細をお伝えください。
トレーニングの場合は「トレーニング No」、各種演習の場合は「演習回数」など。
- ・誤字により質問内容が把握できないあるいは、ページ数の誤りにより質問されたページ数が不明などの事象が発生しております。送信時には必ず質問内容等、再読をお願いいたします。
- ・回答まで1週間程度お時間をいただく場合があります。
- ・質問内容は、2027年合格目標で受講中の科目に関し、2027年7月までに実施する講義およびTAC税理士講座より提供する教材に関する事項に限ります（過年度の教材、市販書籍等（TAC出版物を含む）、TAC税理士講座以外で使用されている教材、受講していない科目および試験範囲を逸脱した質問にはお答えできません）。
- ・質問の際、講師の指名等には応じかねますので予めご了承ください。

※書面による質問はできません。

※TACのサービスに関するご意見やご要望、またはシステムの不具合やお困りごとなどにつきましては専用のお問い合わせ先にて対応をさせていただきます。

お手数をお掛けいたしますが、巻末の「お問い合わせ先一覧」をご確認いただき、お問い合わせください。

6 各種フォロー・サービス対応表

各種フォロー・サービスの利用は、下表の通りとなります。

【注意】TAC提携校では、サービス内容が異なる場合がございます。詳細は各提携校へお問い合わせください。

フォロー制度 (本科生・バック生・単科生)	学習メディア					
	通学		通信			
	教室講座	ビデオブース講座	Web通信講座	オンラインライブ通信講座	DVD通信講座	資料通信講座
デジタル教材	●	●	●	●	●	●
Webフォロー	●	●	-	●	●	-
質問電話	●	●	●	●	●	-
質問メール	回数制限あり	回数制限あり	回数制限あり	回数制限あり	回数制限あり	回数制限あり
採点・答案作成指導	採点のみ	採点のみ	●	●	●	●
自習室利用	●	●	●	●	●	●
科目変更制度	●	●	●	●	●	●
直前期教室講座変更制度	-	●	●	●	●	●
クラス振替出席フォロー	●	-	-	-	-	-
ビデオブース振替フォロー	◎ (500円/1講義)	-	-	-	-	-
追っかけフォロー	●	-	-	-	-	-
演習回教室講座振替制度	-	●	-	-	-	-
校舎間自由視聴制度	-	●	-	-	-	-
アーカイブフォロー	-	-	-	●	-	-
スクーリング	-	-	回数制限あり	回数制限あり	回数制限あり	-
学習進度変更サポート制度	完全合格のみ	完全合格のみ	完全合格のみ	-	完全合格のみ	-

●：標準装備 ◎：有料サービス

特典・割引制度 (本科生・バック生)	申込プラン	
	本科生	バック生
1科目無料再受講制度	●	-
本科生延長割引	●	-
合格祝賀金制度	●	-
追加申込割引	●	3科目フリーバックのみ
オプション講座割引	●	●
経理実務/税法実務講座等割引	●	●

再受講割引制度《翌年度の単科生申込みに際して》

過年度にTAC税理士講座を受講された方は、翌年度の利用対象コースを通常受講料より5%割引でお申込みできます。

【利用対象者】過年度にTAC税理士講座を受講された方

※オプション講座や全国公開模試のみ受講の方は対象外となります。

【利用対象コース】翌年度の下記単科生(期別申込・資料通信講座は対象外)

「完全合格＋上級コース」「基礎マスター＋上級コース」「ベーシックコース」「年内完結＋上級コース」「年内上級講義＋上級コース」「年内上級演習＋上級コース」「速修コース」「上級コース」「チャレンジコース(4-7月期)」

※過年度に受講された科目に関わらず、自由に科目を選択できます。

デジタル教材(PDF版)	[TAC WEB SCHOOL] ⇒ [学習サポート] ⇒ [教材] にて各教材のPDFデータを閲覧できます。
Web フォロー	収録した講義動画をWeb にて繰り返し視聴できます。
質問電話	電話で講師に直接質問・相談ができる制度です。
質問メール	メールで講師に質問・相談ができる制度です。
採点・答案作成指導	実力テスト・上級演習・答練等の答案は、解答手順などの答案作成指導(通学メディアは採点のみ)をしてお返しします。 ※通信メディアの上級演習は提出対象問題のみ(P44 参照) 答案作成指導します。 ※ミニテストは、ビデオブース講座・各通信メディアでは自己採点となります。 直前予想答練は、全メディアで自己採点となります。
自習室利用 (通学生・通信生共通)	講義等で使用していない教室を自習室として開放しています。通学生・通信生ともに利用可能です。
科目変更制度	合格発表後の一定期間、受講科目・コースの変更を認めています。詳細はTAC各校舎までお問い合わせください。※変更により差額をお支払いいただく場合があります。
直前期教室講座変更制度	直前期(5～7月期)を含むコースにおいて、直前期以降を各通信講座から教室受講に変更できる制度です。※変更により差額をお支払いいただく場合があります。
クラス振替出席フォロー	仕事や大学の都合等で、ご登録のクラスに出席できない場合、他のクラスの同一講義に出席できる制度です(手続き不要)。 ※テスト類の採点も受けられます。ただし、答案の返却は出席された校舎・クラスでの返却となります。
ビデオブース振替フォロー	教室講義に出席できない場合、ビデオブースにて講義が受講できる制度です。 [要予約・1講義500円(税込)] ※テスト類(一部テストを除く)の採点も受けられます。
追っかけフォロー	開講日後にお申込みの場合、ビデオブースにて講義を受講し、教室講座の日程に合流する制度です(要予約・無料)。
演習回教室講座振替制度	ビデオブース講座の方が実力テスト・上級演習・実力完成答練・直前予想答練(申込コースに含まれる演習に限る)につき、教室講座に出席できる制度です。 ※年内上級演習は、当制度の対象外です。
校舎間自由視聴制度	登録校舎以外でもビデオブースが利用できる制度です。なお、講座を開講している校舎に限りです。[要予約・1講義500円(税込)]
アーカイブフォロー	オンラインライブ講義実施後は、講義をアーカイブ配信でご視聴いただける制度です。受講期限内であれば繰り返し視聴ができます。
スクーリング	Web・オンラインライブ・DVD通信生がTAC各校舎で開講している教室講座に出席できる制度です。
学習進度変更サポート制度 (完全合格+上級コースのみ)	学習進捗状況に応じたコースに変更できる制度です。 ※学習メディア変更の場合、差額をお支払いいただく場合があります。

【特典・割引制度(本科生・パック生のみ)】

1科目無料再受講制度 (本科生のみ)	本科生期間中に受講した科目(オプション講座・全国公開模試を除く)を受験し、万が一1科目以上不合格となった場合、本科生受講期間最終年度または本科生期間終了の翌年目標であればどの科目でも1科目(1コース)無料受講できる制度です。
本科生延長割引(本科生のみ)	本科生期間終了後も翌年・翌々年目標のコース(単科申込のみ)を通常受講料から20%割引で受講いただけます。
合格祝賀金制度(本科生のみ)	本科生期間内にTACで受講した5科目にすべて合格された場合には、2年(1.5年)本科生で受講された方には10万円、3年(2.5年)本科生で受講された方には5万円を進呈いたします。
追加申込割引	本科生または3科目フリーパック生が期間内に指定科目を超えて追加申込みされる場合は、通常受講料(単科申込のみ)から割引金額で受講できます。
オプション講座割引	ファイナルチェックなどのオプション講座を割引金額で受講できます。
経理実務/税法実務講座等割引	TACで開講している経理実務・税法実務講座等の一部を割引金額で受講できます(本科生・パック生受講終了年度の8月末日までのお申込みに限りです)。

7 各種サービス提供期限一覧

税理士講座

各種サービス提供期限一覧 [2027 年合格目標]

各種サービスの提供は特にご案内のない場合、会員証有効期限までとなっています。

会員証有効期限：2027 年度税理士試験最終日(会員証記載)

サービス内容	期限	詳細
通学メディアの教材受け取り期限	2027年度税理士試験最終日	期限間際は、在庫状況により請求当日のお渡しが難しい場合がございます。予めご了承ください。
ビデオブース(フォロー)視聴期限		視聴期限日までにご視聴となるように、ビデオブースのご予約をお取りください。
通信メディアの教材問い合わせ期限		期限後の教材等の送付漏れ、乱丁・落丁等のお問い合わせはお受けいたしかねます。
講義動画・アーカイブフォロー利用期限		期限後は講義の視聴ができなくなります。
学習サポート機能利用期限		期限後はご利用できなくなります(デジタル教材も含む)。
自習室利用期限	右記参照	【通年】2027 年度税理士試験最終日まで 【期別(※)】各受講期間の最終月末まで ※9-12 月期・1-4 月期等のみの受講の方
質問メール利用期限	2027 年 7 月上旬に『TAC WEB SCHOOL』にて公表いたします。	
質問電話利用期限		
答案提出期限	最終提出締切日 TAC必着 (注1・2・3)	左記の期限までにご提出いただいた答案は、一部の時期を除きTAC到着後約2週間で返却いたします。

注1 最終提出締切日は、2027 年 4 月にTACホームページにて公開する「日程表」の通信発送日のページにてご確認ください(P51「日程表のご案内」を参照)。

最終提出締切日を過ぎて、TACに到着した答案については採点のみとなります。なお、本試験日前までに返却できない場合がございますのでご注意ください。

また、採点については、8 月末日までにTACに到着した答案が対象となります。9 月以降に到着した答案については、採点の対象となりませんのでご注意ください。

注2 全国公開模試(自宅受験)の答案提出期限は専用案内パンフレットなどでご確認ください。

注3 通信メディア受講で教育訓練給付制度をご利用の場合、答案は修了日まで受け付けいたします。各自の修了日まで全提出課題の8割以上をご提出ください。

詳細は、P17「**8**教育訓練給付制度について」を参照してください。

8 教育訓練給付制度について

以下、教育訓練給付制度に関する説明は、全て「一般教育訓練」についての内容です。
現在TACで開講している講座は、「特定一般教育訓練」、「専門実践教育訓練」ではありませんので
ご注意ください。

一般教育訓練給付制度

受講開始日において支給要件のある方が、厚生労働大臣の指定する講座を受講し修了した場合、
支払った入会金・受講料の20%（上限10万円）がハローワークから支給されます。

〔2025年10月1日現在〕

制度ご利用にあたっては「TAC教育訓練給付制度パンフレット」を必ずご確認ください。

1. 一般教育訓練対象コース

制度の詳細ならびに対象コースは「税理士講座パンフレット」「TAC教育訓練給付制度パンフレット」にてご確認ください。
〔2025年10月1日現在〕

対象コース		対象科目	対象メディア
パック	1年簿財パック★	簿記論・財務諸表論 ※2科目とも基礎マスター＋上級コース 【8月・9月入学】が対象	通学：教室・ビデオブース 通信：Web・DVD ※2科目とも同一メディアが対象
	7ヵ月簿財パック★	簿記論・財務諸表論 ※2科目とも速修コース【1月入学】が対象	
単科	基礎マスター＋上級コース 【8月・9月入学】	簿記論・財務諸表論・相続税法 消費税法	通学：教室・ビデオブース 通信：Web・DVD
	年内完結＋上級コース	法人税法・所得税法	
	ベーシックコース	法人税法・所得税法	
	速修コース 【1月入学】	簿記論・財務諸表論・消費税法 国税徴収法	
	上級コース	簿記論・財務諸表論・法人税法 相続税法・消費税法	

★パック生は申込特典により「税理士スタート講座」を無料受講できますが、「税理士スタート講座」は教育訓練給付制度のカリキュラム（受講開始日・講義回数等）には含まれません。

2. 教育訓練給付制度のお申込み

講座のお申込みから1ヵ月以内に、「TAC/Wセミナー 一般教育訓練給付制度申請申込書」に必要事項をご記入の上、TACへご提出ください。講座のお申込みだけでは、教育訓練給付制度申込の登録は完了していません。必ずご提出ください。併せてご本人確認のため、本人および住居の確認ができるものをご提示ください。郵送で提出する場合は、本人および住居の確認ができるもののコピーを添付してください。

★支給要件の照会

ご自身に教育訓練給付金の支給要件があるかどうかをハローワークで照会することができます。照会に必要な「教育訓練給付金支給要件照会票」はTAC各校舎にもございます。ご自身の支給要件について不安がある方は、予め確認してから教育訓練給付制度申込をしていただくことをお勧めします。TACでは支給要件を満たしているかどうかの判断はできません。ご了承ください。

3. 受講にあたって

◆通学の場合

修了認定するための基準（修了要件）

TAC/Wセミナーでは、修了日までに出席率 80%以上並びに修了試験において正答率 60%以上を通学生の修了要件として規定しております。

出席確認

講義・答練に出席の際は、毎回TAC会員証を忘れずに持参し、専用スキャナーによる読取を受けてください。

ビデオブースは予約履歴で出席回数を確認いたします。予約をキャンセルした講義は出席率に加算しません。

出席状況は『TAC WEB SCHOOL』⇒[マイページ]⇒[学習記録]⇒[出席状況]にてご確認ください。

修了日までに出席率 80%以上となるよう、ご自身で出席状況の確認を行ってください。受講した講義欄に「済」が表示されていない場合は、速やかに受講したTAC受付窓口にお申し出ください。

出席状況の確認方法等につきましては、別冊の『TAC利用ガイド』通学メディア・通信メディア共通編「4. TAC WEB SCHOOL について」に掲載しております。

登録のクラスを欠席したら

通学形態のフォロー制度（クラス振替出席フォロー・ビデオブース振替フォロー）を利用して受講した場合は出席率に加算されます。

Webフォローでの受講や資料の受取りだけの場合は、出席として扱われません。ご注意ください。

修了日について

通学生の修了日は、対象コース全体の講義最終日以降にTACが修了要件を確認する日です。講義最終日の約1週間後となります。修了日は修了試験実施の際にご案内いたします。

※会員証に記載のある「有効期限」とは異なりますのでご注意ください。

◆通信の場合

修了認定するための基準（修了要件）

TAC/Wセミナーでは、修了日までに添削答案提出率 80%以上並びに修了試験において正答率 60%以上を通信生の修了要件として規定しております。

答案の提出

答案をご提出の際は、各自の修了日までに「データファイル」と一緒に専用の封筒でご郵送ください。スクーリングに出席された場合、提出率の対象となる答案については教室で提出せず、通常通り「データファイル」と一緒に郵送にてご提出ください。教室で提出されると、修了要件である提出回数としてカウントがされません。

なお、白紙答案や著しく解答の記入が少ない答案は提出と認められませんのでご注意ください。

※簿記論、財務諸表論の「デジタル採点」を導入している答案については、[TAC WEB SCHOOL] ⇒ [ご利用にあたっての大切なご案内] ⇒ 【通信講座対象】デジタル採点新規導入のご案内をご確認のうえご提出ください。

★提出率の対象となる問題・回数は以下の通りです。

コース (受講期間)	科目	回数	9-12月期	1-4月期	5-7月期
基礎マスター＋ 上級コース (12ヵ月)	簿・財	15回	実力テスト No. 1⑧・No. 2⑧・No. 3⑧・No. 4⑥	上級演習 ①③⑤⑦⑨	実力完成答練 ①②③④⑤⑥
	相	17回	実力テスト No. 1⑧・No. 2⑧・No. 3⑧・No. 4⑧	上級演習 ①③⑤⑦⑨⑪⑬	実力完成答練 ①②③④⑤⑥
	消	12回	実力テスト No. 1④・No. 2④・No. 3④・No. 4④	上級演習 ①③⑤⑦	実力完成答練 ①②③④
年内完結＋上級コース (11ヵ月)	法・所	19回	実力テスト No. 1⑨・No. 2⑨・No. 3⑨・No. 4⑨・No. 5⑨	上級演習 ①③⑤⑦⑨⑪⑬⑮	実力完成答練 ①②③④⑤⑥
ベーシックコース (12ヵ月)	法・所	14回	実力テスト No. 1⑧・No. 2⑧・No. 3⑧・No. 4⑥・No. 5⑧・No. 6⑧・No. 7⑥・No. 8⑧		実力完成答練 ①②③④⑤⑥
速修コース (8ヵ月)	簿・財	10回	—	実力テスト No. 1⑧・No. 2⑧・No. 3⑧・No. 4⑥	実力完成答練 ①②③④⑤⑥
	消	12回	—	実力テスト No. 1④・No. 2④・No. 3④・No. 4④ No. 5④・No. 6④・No. 8②④	実力完成答練 ①②③④
	国	8回	—	実力テスト No. 1④⑧・No. 2④⑧	実力完成答練 ①②③④
上級コース (8ヵ月)	簿・財	11回	—	上級演習 ①③⑤⑦⑨	実力完成答練 ①②③④⑤⑥
	法	14回	—	上級演習 ①③⑤⑦⑨⑪⑬⑮	実力完成答練 ①②③④⑤⑥
	相	13回	—	上級演習 ①③⑤⑦⑨⑪⑬	実力完成答練 ①②③④⑤⑥
	消	8回	—	上級演習 ①③⑤⑦	実力完成答練 ①②③④

受講期間と修了日について

受講される講座の初回発送日から受講期間（上記表に記載）を経過した期日が修了日となります。

各自の修了日は給付制度申請申込登録完了後、教材とは別にTACよりご案内をお送りします。答案は修了日まで受付いたします。

※会員証に記載のある「有効期限」とは異なりますのでご注意ください。修了日以前に修了要件を満たされても、修了証明書等の発送は各自の修了日以降となります。

※Webの配信は、本試験日や会員証の有効期限等、各講座が定める期日までとなります（P16 参照）。修了日までご利用いただけない場合がございます。予めご了承ください。

4. 教育訓練給付制度の利用ができなくなるケース

- (1) 科目・コースの変更
- (2) メディアの変更
- (3) 直前期教室講座変更制度の利用

教育訓練給付制度をご利用のコースについて、上記のいずれかの手続きを行いますと、教育訓練給付制度の利用ができなくなりますのでご注意ください。

5. 教育訓練給付制度修了試験について

修了試験は受講後半に〔TAC WEB SCHOOL〕⇒〔学習サポート〕⇒〔Web答練〕で実施いたします。下記期間にアクセスしていただき設定されている解答送信期限内に解答を送信してください。

【実施期間】 2027年5月14日～6月14日（予定）

※正答率60%以上に満たなかった方や期間内に解答ができなかった方で追試をご希望の方は、校舎受付窓口もしくは給付金係にお申出ください。修了日まで郵送にて追試を実施します。

※実施日程は変更となる場合があります。

※資格試験（本試験）の受験および可否は教育訓練給付制度の支給要件とは関係ありません。

6. 講座修了時

所定の期間内に要件を満たして修了された方には、修了日の翌日にTACより「教育訓練給付金支給申請書」「教育訓練修了証明書」「領収書」もしくは「クレジット契約証明書」の3点を郵送いたします。

修了日から1週間以内に書類が届かない場合は至急TACまでご連絡ください。

教育訓練給付制度の関係書類は全て郵送いたします。
住所や書類送付先の変更は、所定の変更届出書にて速やかにお手続きください。

7. 支給申請手続

教育訓練の要件を満たして修了された方が給付金の支給を受けるには、ハローワークでの支給申請手続が必要です。支給申請手続は原則、修了日の翌日から起算して1ヵ月以内です。

※支給申請期限内に手続きできなかった場合は、ハローワークの雇用保険窓口にお問い合わせください。2年間の時効の期間内であれば支給申請手続きが可能です。

8. 教育訓練給付制度に関する詳細

■一般教育訓練給付制度のご案内

<https://www.tac-school.co.jp/kyufu/>

■ハローワークインターネットサービス「教育訓練給付」について

https://www.hellowork.mhlw.go.jp/insurance/insurance_education.html

■TAC教育訓練給付制度パンフレット

- ・TAC各校舎にございます。
- ・TACカスタマーセンターでもご請求いただけます。

「TAC教育訓練給付制度」パンフレット請求

TACカスタマーセンター
0120-509-117

〔受付時間〕 10：00～17：00

9 科目・コース・メディアの変更

受講開始後の科目・コース等の変更は原則として認められません。ただし、特定の事由・期間に限り、受講科目・コース・メディアの変更が認められます。

1. 学習進度変更サポート制度（完全合格＋上級コースのみ）

●変更事由

完全合格＋上級コースを受講中の方が、2026 年 5 月～2027 年 3 月の学習ペース・進捗に合わせて、同一科目を他のコース（基礎マスター＋上級コースまたは速修コース）へ変更する必要がある場合

●変更後のコースおよび手続期間

手続期間により変更可能なコースが異なります。

- ① 完全合格＋上級コース開講後～2026 年 11 月 30 日まで
→基礎マスター＋上級コース（2026 年 7 月～10 月入学）
- ② 2026 年 12 月 1 日～2027 年 3 月 31 日まで
→速修コース（2027 年 1 月入学）

※科目の変更および 2027 年 4 月以降の変更は適用外となります。

※申請から手続完了までお時間がかかる場合がございますので、ご注意ください。

※当制度による変更は 1 科目 1 回のみとなります。当制度利用後の再度の変更には別途追加受講料が発生いたします。

※上記①・②の期間に当制度を利用された場合、変更後は完全合格＋上級コースの講義はすべて受講できなくなります。

●手続き

期間中随時承りますので、ご希望の方は各受付窓口にお問い合わせください。

2. 合格発表に伴う科目・コース・学習メディア変更制度

●変更事由

完全合格＋上級コース、基礎マスター＋上級コース、ベーシックコース、年内完結＋上級コース、年内上級講義＋上級コース、年内上級演習＋上級コースのいずれかを通年コースで受講中の方が、2026 年 11 月本試験合格発表以降に本年度の受験予定科目を変更する必要がある場合

●変更後のコース

ベーシックコース（2027 年 1 月以降講義分より）・上級コース・速修コース（1 月入学）

※ベーシックコースの 2026 年 12 月までの講義受講を遡って希望される場合は適用外となります。

●手続き

所定期間内での手続きが必要です。2026 年 11 月本試験合格発表日後の 12 月より開始となります。その他手続きに関する詳細は 2026 年 11 月下旬頃「TAC WEB SCHOOL」にてご案内いたします（通信講座受講生の方には 2026 年 11 月下旬頃の教材発送にご案内を同封します）。

3. 直前期教室講座変更制度（直前期の科目・コース・学習メディア変更）

※主に直前期から教室講座の受講生と一緒に講義・答練を受けたいという方のために、ご用意している制度です。

●変更事由

2027 年 7 月までの通年コースを受講中の方が、直前期部分につき、科目・コース・学習メディアを教室講座等に変更する必要がある場合

●変更後のコース

ベーシックコース・上級コース・速修コース（いずれも直前期以降）

※直前期以前からの講義受講を希望される場合は適用外となります。

●手続き

所定の期間内での手続きが必要です。2027 年 3 月より開始となります。その他手続きに関する詳細は 2027 年 3 月下旬頃「TAC WEB SCHOOL」にてご案内いたします。

（通信講座受講生の皆様には 2027 年 3 月下旬頃の教材発送にご案内を同封します）

<各制度注意事項>

- ①各制度とも、変更後の科目・コース・学習メディアによって追加受講料が必要となる場合がありますのでご注意ください。
 - ②制度ごとに一定の手続期間がございます。期間外のお申し出については各制度の適用外となります。
 - ③校舎・学習メディアにより、設定されていない科目・コースがあります。
 - ④「速修コース（3 月入学）」に科目変更やコース変更はできません。
 - ⑤変更手続き後、再度変更することはできません。
 - ⑥教育訓練給付制度をご利用の方が、当制度を利用した場合、教育訓練給付制度が利用できなくなりますのでご注意ください。
- ※その他ご不明な点は、各校受付にお問い合わせください。

4. 受講途中での他の学習メディアへの変更

転居などにより通学ができなくなるなど、止むを得ない事情がある場合、ご相談をお受けいたしますので、各校受付にお問い合わせください。

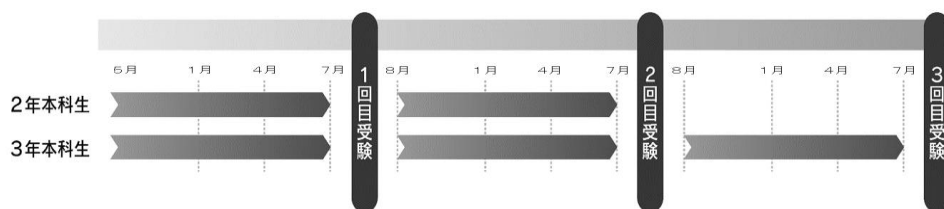
※変更の際し、差額受講料が必要となる場合があります。

10 本科生・パックス生について

1. 本科生

(1) 本科生について

本科生期間中5科目まで受講することができます。また、学習メディアは教室講座・ビデオブース講座及び各通信講座の中から選択することができます（一部、追加受講料が必要となる学習メディアがございます）。

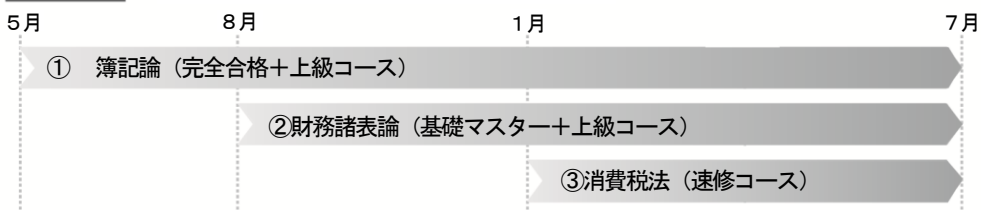


(2) 各年度内での受講科目・コース上限

	2年本科生・1.5年本科生		3年本科生・2.5年本科生	
	一括払い	分割払い	一括払い	分割払い
1年目	4科目まで	3科目まで	3科目まで	2科目まで
2年目	5科目ー（1年目受講科目数）		1年目と合算して4科目まで	
3年目			5科目ー（1年目＋2年目受講科目数）	

各年度内で受講科目を順次増やしていくことも可能です。

パターン例 5月・8月・1月に1科目ずつ増やすケース



※完全合格＋上級コース・基礎マスター＋上級コース(7月入学)は、各本科生・パックス生の2年目以降は選択できません。

※本科生における受講科目の選択数は、合格目標年度をまたがって同じ科目を選択された場合でも、それぞれ1科目と数えます（例：1年目簿記論を選択され、2年目簿記論を再度選択された場合は「2科目選択」となります）。

※本科生期間中は、目標年ごとに1科目以上のご登録が必要です。

(3) 科目選択の登録期限

科目選択の登録は教室講座・ビデオブース講座・各通信講座ともに、下記の登録期限までにお済ませください。期限を過ぎましたコースについては登録できませんので、予めご了承ください。なお、次年度の登録権利をお持ちの方には、2027年8月上旬に次年度の登録案内を送付いたします。

(注意) 2年目以降、完全合格+上級コース・基礎マスター+上級コース(7月入学)は選択できません。

- ① 8月～翌年1月入学の各コース……各開講日・受講開始日より2ヵ月以内
- ② 3月入学の各コース……開講年の5月末日まで

(4) 会員証について

教室講座・ビデオブース講座を選択された場合、期間(5～12月、1～4月、5～7月)ごとに会員証の発行が必要になります。TAC校舎受付窓口にてお手続きください。各通信メディアを選択された場合、会員証は年度ごとに1枚発行されます。

(5) 本科生特典について

①追加申込割引

- 2年本科生・1.5年本科生……以下の条件で追加申込をされる場合、通常受講料(単科生申込のみ)から50%割引いたします。

＜一括払い＞ 1年目 4科目を超えて、追加申込される場合

2年目 {5科目－1年目受講科目数}を超えて、追加申込される場合

＜分割払い＞ 1年目 3科目を超えて、追加申込される場合

2年目 {5科目－1年目受講科目数}を超えて、追加申込される場合

- 3年本科生・2.5年本科生……以下の条件で追加申込をされる場合、通常受講料(単科生申込のみ)から50%割引いたします。

＜一括払い＞ 1年目 3科目を超えて、追加申込される場合

2年目 {5科目－(1年目＋3年目受講科目数)}(※上限4科目)を超えて、追加申込される場合

3年目 {5科目－(1年目＋2年目受講科目数)}を超えて、追加申込される場合

＜分割払い＞ 1年目 2科目を超えて、追加申込される場合

2年目 {5科目－(1年目＋3年目受講科目数)}(※上限4科目)を超えて、追加申込される場合

3年目 {5科目－(1年目＋2年目受講科目数)}を超えて、追加申込される場合

※追加申込割引の対象は、受講中の本科生と同一の目標年度の単科申込に限ります。

※お申込みは、TAC校舎受付窓口もしくは郵送にてお願いします。また、お申込み時に必ず会員証をご提示の上、本科生の特典による割引の旨をお伝えください。

郵送の場合は、申込書備考欄に「本科生追加申込割引」とご記入ください。

※当制度を利用して本科生期間中に5科目合格された方には、合格祝賀金を進呈いたします(P25参照)。

②オプション講座割引・経理実務／税法実務講座等割引

ファイナルチェック等のオプション講座および経理実務／税法実務／経営法務講座を50%割引で受講できます。

※本科生受講終了年度の8月末日までのお申込みに限ります。

※本科生延長割引制度期間は適用外となります。

※全国公開模試は適用外となります。

※お申込みは、TAC校舎受付窓口もしくは郵送にてお願いします。また、お申込み時に必ず会員証をご提示の上、本科生の特典による割引の旨をお伝えください。郵送の場合は、申込書備考欄に「本科生オプション講座割引」とご記入ください。

③合格祝賀金

本科生期間中（本科生延長割引制度期間中は含まれません）に5科目合格し、下記の要件を満たしている方には合格祝賀金を進呈いたします。

＜要件1＞

合格された5科目すべてをTAC本科生として受講していること。

＜要件2＞

本科生期間中に行われる連続する受験で5科目合格していること。

【金額】

●2年本科生・1.5年本科生…10万円

●3年本科生・2.5年本科生…5万円

※合格祝賀金制度の申請期限は、対象本科生終了年度の翌年1月末日までとし、期限内に自己申告による申請手続きが必要となります。申請時には、合格証書（コピー可）をご用意ください。なお、期限を過ぎた場合、申請は受付できませんので予めご了承ください。

④1科目無料再受講制度

本科生期間内に受講した科目（オプション講座・全国公開模試を除く）について、万が一1科目以上不合格となった場合、本科生受講期間最終年度または本科生受講期間終了の翌年目標までに、どの科目でも1科目（1コース）無料で追加受講できる制度です。受講料分割払いの方は各本科生の目標最終年度のお支払いが終了してからご利用できます。

＜受講可能となる科目・コース＞

不合格判明以降に開講する、本科生受講期間最終年度または本科生期間終了翌年目標の1科目（コース）を通常受講料（単科申込のみ）から100%割引で追加申込できます。

※受験した科目と違う科目・コースを受講いただくことも可能です。学習メディアも自由に選択できます。

※不合格判明以前に開講しているコースや期別申込は対象外です。

※受講料分割払いの方は、各本科生の目標最終年度のお支払いが終了してからご利用いただけます。

※本科生期間終了の翌年目標で利用する場合は、4月までに開講するコースが対象となります。

<手続き>

不合格が判明した際の「税理士試験結果通知書」のコピーをご用意ください。「税理士試験結果通知書」のコピーがない場合は、いかなる事情があっても当制度の適用はできません。また、未受験の科目につきましては、「税理士試験結果通知書」に印字されてきませんので、当制度は適用外となります（「税理士試験結果通知書」は受験された科目のみの結果が通知されます）。

※お申込みは、TAC校舎受付窓口もしくは郵送にてお願いします。受講申込書に「税理士試験結果通知書」のコピーを添え受付にご提出ください。郵送でのお手続きの場合は、申込書に「税理士試験結果通知書」のコピーを同封し、「1科目無料再受講制度利用」と封筒に明記してご送付ください。

<その他注意事項>

※当制度を利用して本科生期間中に5科目合格された方には、合格祝賀金を進呈いたします（本科生期間終了の翌年に当制度を利用して5科目合格された場合は、対象外となります）。

※当制度を利用後、本科生を解約された場合、無料受講科目についてもTAC申込規約3【受講料について】(2)イに基づき計算させていただきます。なお、その際継続して無料受講科目の受講を希望される場合は、その継続分の受講料については別途有料でのお申込みが必要です。

※当制度でお申込みのコースが「合格発表に伴う変更制度」「直前期教室講座変更制度」の対象であった場合、いずれも利用できます。ただし、前述の変更制度以外のコース・科目の変更は不可とさせていただきます（別途有料でのお申込みとなります）。

<1科目無料再受講の利用例>

2027～2029年目標の3年本科生（2027年試験で消費税法が不合格）の場合



※本科生受講料分割払いの方は分割払い最終年度のお支払い以降にご利用いただけます。

※制度を利用する際には、「税理士試験結果通知書」のコピーが必要となります。大切に保管をお願いいたします。

⑤本科生延長割引

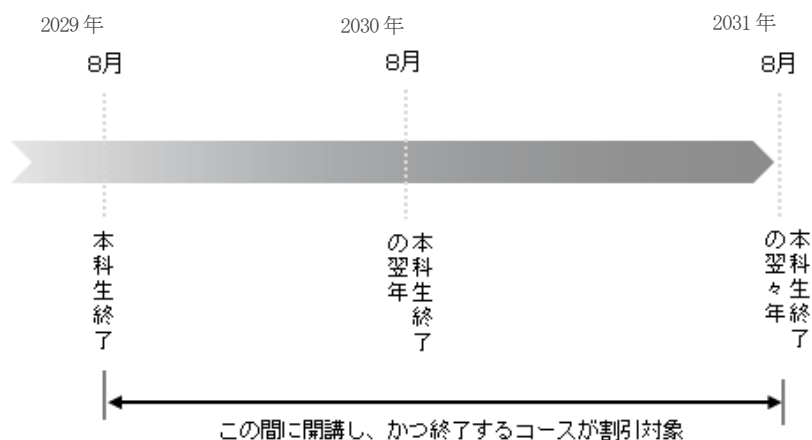
本科生期間終了後も、本科生終了後から2年間は単科受講料から20%割引でお申込みできます。

※お申込みは、TAC校舎受付窓口もしくは郵送にてお願いします。また、お申込み時に必ず会員証をご提示の上、本科生の特典による割引の旨をお伝えください。

郵送の場合は、申込書備考欄に「本科生延長割引」とご記入ください。

※本科生延長割引でのお申込みはコースの単科申込のみとなりますので、オプション講座等の割引は対象外となります。ご注意ください。

【2027・2028・2029年合格目標の3年本科生の場合】



【本科生受講期間中の特典】

		1科目無料再受講制度※ ¹	追加申込割引	オプション講座割引 経理実務／税法実務講座等 割引
適用期間		本科生受講期間最終年度※ ^{2,3}	本科生受講期間中	
適用条件		本科生期間中の受講科目が1科目以上不合格となった場合	追加で単科申込をされる場合	オプション講座（ファイナルチェック等）、経理実務／税法実務講座等の一部をお申込みになる場合
対象 コース	2年本科生・1.5年本科生	100%OFF※ ^{2,3}	50%OFF	50%OFF
	3年本科生・2.5年本科生			
適用 範囲	単科生一括申込	○※ ^{2,3}	○	○
	教室・ビデオブース期別申込	×		
	直前対策	×		
	本科・バック申込	×	×	

【本科生受講期間終了後の特典】

		1科目無料再受講制度※ ¹	本科生延長割引	合格祝賀金
適用期間		本科生を終了後、翌年の7月末日までに終了する期間※ ²	本科生を終了後、翌々年の7月末日までに終了する期間	本科生終了時
適用条件		本科生期間中の受講科目が1科目以上不合格となった場合	上記期間内に終了するコースを単科申込をされる場合	本科生を終了後、その年の合格発表で通算5科目合格した場合、合格祝賀金を進呈※ ⁴
対象 コース	2年本科生・1.5年本科生	100%OFF※ ²	20%OFF	10万円を進呈※ ⁴
	3年本科生・2.5年本科生			5万円を進呈※ ⁴
適用 範囲	単科生一括申込	○※ ²	○	/
	教室・ビデオブース期別申込	×		
	直前対策	×		
	本科・バック申込（継続受講）	×	×	
	オプション講座 経理／税法実務講座等			

- ※¹ 1科目無料再受講制度は、本科生受講期間最終年度または本科生終了翌年に1回のみご利用いただけます。
- ※² 不合格判明以降に開講するコースに限りです。
- ※³ 受講料分割払いの方は各本科生の受講期間最終年度のお支払いが終了してからご利用いただけます。
- ※⁴ 所定の期間内に自己申告による申請手続が必要となります。

2. パック生

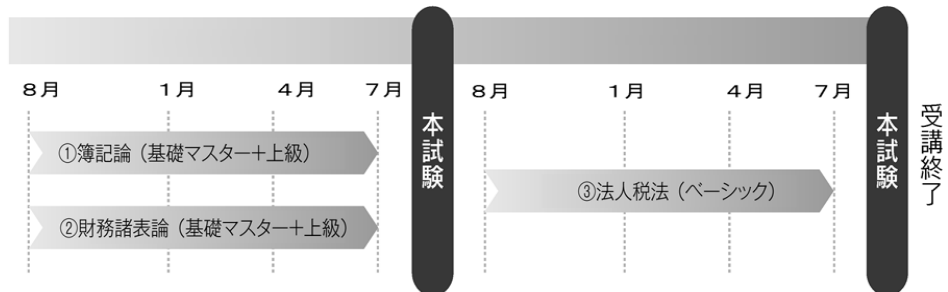
(1) フリーパック・簿財パックについて

フリーパック・簿財パックの学習メディアは、科目ごとに教室講座・ビデオブース講座・各通信講座内の中から選択することができます（DVD通信講座を選択される場合には、追加受講料が必要となります）。

(2) 科目の選択と受講プラン（フリーパック生）

パターン例

（例：2年3科目フリーパックの場合）



※完全合格+上級コース・基礎マスター+上級コース（7月入学）は、パック生の2年目では選択できません。

※複数年パックにおける受講科目の選択数は、合格目標年度をまたがって同じ科目を選択された場合でも、それぞれ1科目と数えます（例：1年目簿記論を選択され、2年目簿記論を再度選択された場合は「2科目選択」となります）。

※パック生期間中は、目標年ごとに1科目以上のご登録が必要です。

(3) 科目選択の登録期限

科目選択の登録は、教室講座・ビデオブース講座・各通信メディアともに、下記の登録期限までにお済ませください。期限を過ぎましたコースについては登録できませんので、予めご了承ください。なお、次年度の登録権利をお持ちの方には、2026年8月上旬に次年度の登録案内をご送付いたします。

（注意）2年目は完全合格+上級コース・基礎マスター+上級コース（7月入学）は選択できません。

①8月～翌年1月入学の各コース……………各開講日・受講開始日より2ヵ月以内

②3月入学の各コース……………開講年の5月末日まで

(4) 会員証について

教室講座・ビデオブース講座を選択された場合、期間（5～12月、1～4月、5～7月）ごとに会員証の発行が必要になります。

各通信メディアを選択された場合、会員証は年度ごとに1枚発行されます。

(5) パック生特典について

①追加申込割引（3科目フリーパックのみ）

受講期間中にさらに単科生申込にて科目を追加される場合には、通常受講料（単科申込のみ）から20%割引いたします（2科目フリーパック・簿財パックについては適用されません）。

※追加申込割引の対象は、受講中のパックと同一の目標年度の単科申込に限ります。

※お申込みは、TAC校舎受付窓口もしくは郵送にてお願いいたします。また、お申込み時に必ず会員証をご提示の上、パック生の特典による割引の旨をお伝えください。郵送の場合は、申込書備考欄に「パック生追加申込割引」とご記入ください。

②オプション講座割引・経理実務／税法実務講座等割引

ファイナルチェック等のオプション講座および経理実務／税法実務／経営法務講座を20%割引で受講できます。

※パック生受講終了年度の8月末日までのお申込みに限ります。

※全国公開模試は適用外となります。

※お申込みは、TACの受付窓口もしくは郵送にてお願いいたします。また、お申込み時に必ず会員証をご提示の上、パック生の特典による割引の旨をお伝えください。郵送の場合は、申込書備考欄に「パック生オプション講座割引」とご記入ください。

【パック生受講期間中の特典】

		追加申込割引	オプション講座割引・ 経理実務／税法実務講座等割引
適用期間		フリーパック・簿財パック受講期間中	
適用条件		パックでの登録の枠を越えて追加で単科申込をされる場合	オプション講座（ファイナルチェック等）をお申込みになる場合
対象コース	1年簿財パック	適用なし	20%OFF
	7ヵ月簿財パック		
	1年2科目フリーパック		
	7ヵ月2科目フリーパック		
	1年2科目フリーパックS		
	7ヵ月2科目フリーパックS		
	1年2科目フリーパックSS	20%OFF	
	7ヵ月2科目フリーパックSS		
	1年3科目フリーパック	適用なし	
	7ヵ月3科目フリーパック		
2年2科目フリーパック	20%OFF		
1.5年2科目フリーパック			
2年3科目フリーパック	適用なし		
2.5年3科目フリーパック			
適用範囲	単科生一括申込	○	○
	教室・ビデオブース期別申込		
	直前対策		
	本科生・パック生申込	×	

●表に記載されております割引制度は、TAC校舎受付窓口もしくは郵送でのお申込みとなります（インターネット申込・e受付、大学生協等代理店でのお申込みはできません）。

MEMO

教室講座編

- | | |
|---------------------|------|
| 1. 欠席した場合のフォロー | P 33 |
| 2. もう一度講義を受講したい場合 | P 35 |
| 3. 答案の採点および成績発表について | P 36 |

1 欠席した場合のフォロー

講義に欠席した場合は以下のフォロー制度を活用してください。

欠席した場合のフォロー方法	フォロー制度	フォローの内容
1. 欠席した講義を他のクラスに出席して受講する	クラス振替出席フォロー ※テスト類の採点も受けられます。	定員締切クラスを除き会員証とテキスト等をお持ちいただければ、ご希望の校舎・クラスで講義が受けられます(お手続きは不要)。
2. 欠席した講義をビデオブースで受講する	ビデオブース振替フォロー(有料) ※テスト類の採点も受けられます。 答案は校舎窓口へ提出。	各校舎のビデオルーム内で講義を視聴できます[要予約、1講義¥500(税込)]。詳細は各校舎にお問い合わせください。
3. ご自身のパソコンやスマートフォン・タブレット端末でWeb通信の講義を受講する	Webフォロー(標準装備) ※テスト類の採点も受けられます。 答案は校舎窓口へ提出。	Web通信講座の講義をご自身の端末で視聴できます。

1. 他のクラスに出席する…「クラス振替出席フォロー」

登録したクラスの講義を欠席した場合、同一コース、同一回の講義に限り、別クラスの講義に出席できます。

※テスト類(ミニテスト、実力テスト、答練、演習等)の採点も受けられます。

ただし、答案の返却は出席された校舎・クラスでの返却となります。

※クラス振替出席フォローは、受講地区を問わず可能ですが、登録人数の多いクラスによっては、振替出席をご遠慮いただく場合がございます。予めご了承ください。

2. 欠席した講義をビデオブースで受講する…「ビデオブース振替フォロー」

欠席された講義を各校ビデオブース内の個別ブースにて視聴することができます。予約した校舎のビデオブースでご視聴ください。なお、受講・予約の方法は、「TAC WEB SCHOOL」をご参照ください。

◇有料[1講義につき500円(税込)]、完全予約制(当日予約は不可)となります。

◇視聴開始日は、各日程表をご覧ください。

※テスト類(一部のテストを除く)は、TAC校舎受付窓口へご提出いただけましたら採点も受けられますが、通常的答案返却よりもお時間を要する場合があります。予めご了承ください。なお、ご提出いただける答案については、P10「**3** 演習・答練について」に記載したビデオブース講座の提出対象答案となります。

※答案は提出した校舎の答案返却BOXで受け取ってください。

3. Webフォロー

「TAC WEB SCHOOL」にて受講することが出来ます。

詳細は、別冊の『TAC利用ガイド』通信メディア編「**2**WEB での受講方法」をご覧ください。

◇Webフォローは標準装備です。

◇Webフォローをご利用になる場合は、下記 TACホームページ内「TAC WEB SCHOOL」にて動作環境および無料デモ体験版の動作をご確認ください。

<https://portal.tac-school.co.jp/>

◇Webフォローでの視聴の場合、教育訓練給付制度ご利用の方は、出席扱いになりませんのでご注意ください。

※テスト類（一部のテストを除く）は、TAC校舎受付窓口へご提出いただけましたら採点も受けられますが、通常的答案返却よりもお時間を要する場合があります。予めご了承ください。なお、ご提出いただける答案については、P10「**3**演習・答練について」に記載したビデオブース講座の提出対象答案となります。

※答案は提出した校舎の答案返却BOXで受け取ってください。

2 もう一度講義を受講したい場合

◆Webフォロー

「TAC WEB SCHOOL」にて講義を何度でも受講することができます（P33・34 参照）。

3 答案の採点および成績発表について

1. 答案返却について

教室講座の場合は約1週間後に教室で返却します。返却時に欠席された場合は、各校舎所定の答案返却BOXで受け取ってください。

※直前予想答練は自己採点となります。

2. 欠席フォロー利用時の答案返却について

(1) クラス振替出席フォロー

クラス振替出席フォローを利用して教室で答練を受けた場合の返却は、実際に出席した校舎で行います。返却時に欠席された場合は、振替受講された校舎の受付にある答案返却BOXで受け取ってください。郵送による返却、校舎間の答案転送等は一切行っておりませんので、ご了承ください。

(2) ビデオブース振替フォロー・Webフォロー

答案を提出した校舎の答案返却BOXで受け取ってください。

※通常の答案返却よりもお時間を要する場合があります。予めご了承ください。

3. 成績発表について

(1) 個人別成績表

ご自身の成績(各問の得点・合計得点・全国平均点・上位%)を「TAC WEB SCHOOL」

⇒「学習記録」⇒「成績表」にて個人別成績表に反映いたします。

各テストの個人別成績表への反映は、答案がTACに到着してから約1～2週間後です。

※個人別成績表は約1～2週間おきに更新となります。

※自己採点となる問題については、個人別成績表への反映はございません。

(2) 総合成績表

実力テスト・上級演習・実力完成答練では、成績優秀者一覧・得点分布表を「TAC WEB SCHOOL」⇒「学習記録」⇒「成績表」にて発表いたします。

総合成績表の発表日程は、「TAC WEB SCHOOL」の「講座からのお知らせ」に順次掲載予定の「成績発表のご案内」にてご確認ください。

※ミニテスト・補助問題・チャレンジ演習・直前予想答練等は総合成績表の発表はございません。

「TAC WEB SCHOOL」の利用方法は、別冊の『TAC利用ガイド』通信メディア編「2 WEB での受講方法」をご参照ください。

4. 返却答案の保管期間について

返却より長期間経過した答案は「答案返却BOX」から回収し、本試験終了後1週間で全て廃棄いたします。ご注意ください。

MEMO

ビデオブース講座編

- | | |
|--------------------------------|------|
| 1. 答練等の受講、答案の採点および
成績発表について | P 39 |
| 2. 答練・演習の教室振替について | P 40 |
| 3. もう一度講義を受講したい場合 | P 40 |

1 答練等の受講、答案の採点および成績発表について

1. 答練等の受講について

ご視聴いただく講義は解説講義のみとなります。

受講に際しては、以下のいずれかの方法で解答し、その後、講義をご視聴ください。

- (1) ビデオブースで解答
- (2) 自習室にて解答
- (3) 自宅に問題を持ち帰って解答

2. 答案の提出・返却について

(1) 答案の提出について

採点対象答案の提出は、各校舎の受付窓口へお願いいたします。

採点対象答案……実力テスト・上級演習・実力完成答練

※上記以外の演習（ミニテスト・補助問題・チャレンジ演習・直前予想答練等）につきましては自己採点となります。

(2) 答案の提出期限について

答案の提出期限は、2027年4月にTACホームページにて公開する「日程表」内、通信発送日程に記載した最終提出締切日となります。

(3) 答案の採点開始について

採点は、日程表に記載した提出対象回の講義視聴開始日より開始いたします。採点開始日前に提出した答案は、返却に2週間以上かかる場合があります。

(4) 答案の返却について

各種答案の採点済み答案については、提出日から約2週間前後で各校舎所定の答案返却BOXに返却させていただきます。ご自身の答案を確認した上、お間違えのないようお持ち帰りください。また答案の採点や集計上、答案の返却が遅れてしまう場合があります。予めご了承ください。

(5) 返却答案の保管期限

返却より長期間経過した答案は、「答案返却BOX」から回収し、本試験終了後1週間ですべて廃棄いたします。ご注意ください。

3. 成績発表について

(1) 個人別成績表

ご自身の成績（各問の得点・合計得点・全国平均点・上位%）を「TAC WEB SCHOOL」⇒「学習記録」⇒「成績表」にて個人別成績表に反映いたします。

各テストの個人別成績表への反映は、答案がTACに到着してから約1～2週間後です。

※個人別成績表は約1～2週間おきに更新となります。

※自己採点となる問題については、個人別成績表への反映はございません。

(2) 総合成績表

実力テスト・上級演習・実力完成答練では、成績優秀者一覧・得点分布表を「TAC WEB SCHOOL」⇒「学習記録」⇒「成績表」にて発表いたします。

総合成績表の発表日程は、「TAC WEB SCHOOL」の「講座からのお知らせ」に順次掲載予定の「成績発表のご案内」にてご確認ください。

※ミニテスト・補助問題・チャレンジ演習・直前予想答練等は総合成績表の発表はございません。

2 答練・演習の教室振替について

◆演習回教室講座振替制度 ※年内上級演習は不可

答練・演習は教室講座の受講生と一緒に受講したいという方のために、ビデオブース受講から教室受講（教室講座開講校舎のみ）に振替できる制度です。お申込みコースに含まれる実力テスト・上級演習・実力完成答練・直前予想答練につき、教室講座に出席できます。

お手続きは不要です。会員証をお持ちの上、教室講義に出席してください。日程は、TACホームページにて公開する「日程表」で確認の上、ご希望の校舎・クラスで受講してください。

※上記の演習回以外の講義には出席できません。

※年内上級演習コース（年内上級演習＋上級コースの年内部分）の年内上級演習は出席できません。

※定員に達したクラスについては、振替受講をお断りするケースがあります。詳細は各校までお問い合わせください。

※実力テスト・上級演習・実力完成答練は教室にて答案を提出していただければ採点もいたします。採点後の答案は、出席された答練・演習実施日の1週間後の教室講義実施後に、出席された校舎の「答案返却BOX」に返却いたします。受講校舎以外での返却は行いませんのでご注意ください。

3 もう一度講義を受講したい場合

◆Webフォロー

「TAC WEB SCHOOL」にて講義を何度でも受講することができます（P33・34 参照）。

MEMO

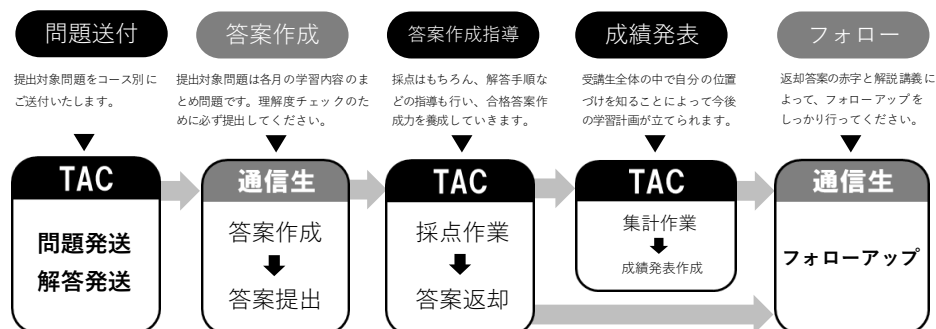
通信メディア編

1. 教材発送について	P 43
2. 採点・答案作成指導の流れ	P 44
3. 学習サポート機能	P 47
4. スクリーニング	P 48

2 採点・答案作成指導の流れ

通信メディアには、コース毎に提出対象問題が用意されており、提出された答案は採点・答案作成指導をしてお返しいたします。なお、提出対象問題には、答案提出締切日が設けられておりますので、「日程表」にて答案提出締切日をご確認の上、計画的にご提出ください。

1. 採点・答案作成指導サイクル



※税理士試験前後、お盆休み、年末年始、ゴールデンウィークの期間につきましては返却に日数がかかる場合がございます。
※郵送事情により返却に日数がかかる場合がございます。

2. 提出対象問題（提出課題）

提出対象問題は下記の通りとなりますので、ご確認の上ご提出ください。下記以外の答案を提出された場合、採点・答案作成指導はいたしかねますので予めご了承ください。

※カリキュラム変更により、回数が変更となる場合があります。

コース	科目	回数	5-12月期	1-4月期	5-7月期
完全合格+上級コース	簿・財	15回	実力テスト（全）	上級演習（奇数回）	実力完成答練（全）
基礎+マスター+上級コース	簿・財	15回	実力テスト（全）	上級演習（奇数回）	実力完成答練（全）
	相	17回	実力テスト（全）	上級演習（奇数回）	実力完成答練（全）
	消	12回	実力テスト（全）	上級演習（奇数回）	実力完成答練（全）
	酒・固・事・国	12回	実力テスト（全）	上級演習（奇数回）	実力完成答練（全）
ベーシックコース	法・所	14回	実力テスト（全）		実力完成答練（全）
年内完結+上級コース	法・所	19回	実力テスト（全）	上級演習（奇数回）	実力完成答練（全）
年内上級講義+上級コース	簿・財	15回	実力テスト（全）	上級演習（奇数回）	実力完成答練（全）
年内上級講義	簿・財	4回	実力テスト（全）	—	—
年内上級演習+上級コース	法・所	21回	演習（奇数回）	上級演習（奇数回）	実力完成答練（全）
	相	20回	演習（奇数回）	上級演習（奇数回）	実力完成答練（全）
	消	12回	演習（奇数回）	上級演習（奇数回）	実力完成答練（全）
年内上級演習コース	法・所・相	7回	演習（奇数回）	—	—
	消	4回	演習（奇数回）		
速修コース	簿・財・相	10回	—	実力テスト（全）	実力完成答練（全）
	法・所	11回	—	実力テスト（全）	
	消	12回	—	実力テスト（全）	実力完成答練（全）
	酒・固・事・住・国	8回	—	実力テスト（全）	

4. 採点開始日

答案は、日程表に記載した提出対象回の講義録配信開始日より採点を開始いたします。配信開始日前に到着した答案は、返却に2週間以上かかる場合があります。

5. 答案提出期限

提出対象問題には提出締切日（TAC税理士講座への必着日）があります。各回の提出締切日は、TACホームページにて公開している「日程表」に明示されています。

計画的な学習を行って、答案は提出締切日までに必ずご提出ください。

- ・提出締切日を過ぎてTACに到着した答案も採点・答案作成指導します（教育訓練給付制度の提出率にも加算されます）が、成績上位者発表の対象から除かれます。
- ・最終提出締切日を過ぎてTACに到着した答案については採点のみとなり、本試験日前までに返却できない場合がございますのでご注意ください。2027年目標の最終提出締切日は、2027年4月にTACホームページにて公開する「日程表」の通信発送日程のページにてご確認ください。

8月末日までにTACに到着した答案が採点の対象となります。9月以降に到着した答案については、採点の対象となりませんのでご注意ください。

6. 成績発表について

（1）個人別成績表

ご自身の成績（各問の得点・合計得点・全国平均点・上位%）を〔TAC WEB SCHOOL〕⇒〔学習記録〕⇒〔成績表〕にて個人別成績表に反映いたします。

各テストの個人別成績表への反映は、答案がTACに到着してから約1～2週間後です。

※個人別成績表は約1～2週間おきの更新となります。

※提出対象問題（P44・45 参照）以外は採点・答案作成指導および個人別成績表への反映はございません。

（2）総合成績表

実力テスト・上級演習・実力完成答練では、成績優秀者一覧・得点分布表を〔TAC WEB SCHOOL〕⇒〔学習記録〕⇒〔成績表〕にて発表いたします。

総合成績表の発表日程は、「TAC WEB SCHOOL」の「講座からのお知らせ」に順次掲載予定の「成績発表のご案内」にてご確認ください。

※ミニテスト・補助問題・チャレンジ演習・直前予想答練等は総合成績表の発表はございません。

7. お問い合わせ

答練・演習の答案返却に関するお問い合わせは、TAC通信担当までお願いいたします。

※お問い合わせ先は巻末「お問い合わせ先一覧」をご確認ください。

※スクーリングで郵送返却の手続きをとって提出した答案については、提出した校舎にお問い合わせください。

※簿記論、財務諸表論の「デジタル採点」によるご提出については、〔TAC WEB SCHOOL〕⇒〔ご利用にあたっての大切なご案内〕⇒【通信講座対象】デジタル採点新規導入のご案内に記載のメールアドレス宛にお問い合わせください。

3 学習サポート機能

TAC WEB SCHOOL では様々な学習サポート機能で、受講生と講師による双方向のコミュニケーション学習を可能にします。メールで疑問点を質問できる「質問メール」、学習上よくある質問をデータベース化した「よくある質問」など、フォロー体制は万全です。

※お申込みの講座・コースにより、ご利用いただける機能は異なります。

[パソコン画面]



◆質問メール

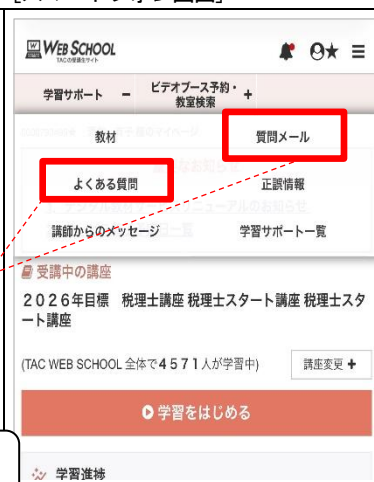
学習上の疑問点など質問したい場合、いつでもメールで質問ができます。疑問点や不明な点は早めに解決することが大切です。講師またはスタッフが分かりやすく丁寧にお答えします。

※回答もマイページ上でご確認ください。

◆よくある質問

疑問点や不明点があったら、まずは「よくある質問」をご覧ください。一般的に多い質問や他の方がすでに質問した事項をデータベースに集めてありますので、疑問に思う項目を探することができます。

[スマートフォン画面]



※画面は2026年2月現在のものです。

1. ご利用方法

「学習サポート機能」はTAC WEB SCHOOLのマイページよりご利用いただけます。マイページ登録をまだ行われていない場合は、[\[https://portal.tac-school.co.jp\]](https://portal.tac-school.co.jp) にアクセスし、⇒ [ログインページへ] ⇒ [マイページ登録] と進み、画面の案内に従って登録を完了させてください。

2. 注意事項

TACでは『学習サポート機能』の操作方法についてはサポートしております(お問い合わせ先は、巻末の「お問い合わせ先一覧」をご確認ください)が、それ以外の内容(パソコンの使い方・故障・プロバイダーへの接続不具合等)についてはサポートいたしかねますので、直接メーカーやプロバイダーにお問い合わせください。

4 スクーリング

対象となる通信メディアの受講生が、TAC各校舎で開講されている教室講座に出席できる制度です。同じ目的を持ったライバルと顔を合わせる良い機会ですので、ぜひご活用ください。ご利用の際は必ず会員証と教材をご持参の上、講義を実施する教室にお越しください。なお、e会員証ではスクーリング他、TAC各校舎でのサービスを受けることができません。受付窓口にて会員証の発行を受けてください。

●対象者

コース …全コース

メディア…We b通信講座、オンラインライブ通信講座、DVD通信講座

※資料通信講座はスクーリング対象外

●回数（1科目につき）

コース	科 目	回数
完全合格+上級コース	簿記・財表	22回
基礎マスター+上級コース	簿記・財表・相続	22回
	消費・酒税・固定・事業	11回
ベーシックコース	法人・所得	22回
年内完結+上級コース	法人・所得	22回
年内上級講義+上級コース	簿記・財表	22回
年内上級講義コース	簿記・財表	8回
年内上級演習+上級コース	法人・所得・相続	18回
	消費	10回
年内上級演習コース	法人・所得・相続	4回
	消費	3回
速修コース（1月入学）	簿記・財表	14回
	消費	11回
	固定・事業・国徴	7回
速修コース（3月入学）	消費・酒税・固定・国徴	7回
上級コース	簿記・財表・法人・所得・相続	14回
	消費・酒税・固定・事業・国徴	7回
チャレンジコース	簿記・財表・法人・所得・相続	5回
※直前期（5-7月期）のみ	消費	3回
直前対策講座	簿記・財表・法人・所得・相続	5回
	消費・酒税・固定・事業・国徴	3回

（注）教室講座の開講がない場合は、スクーリングはご利用いただけません。

●地区

札幌校・仙台校・水道橋校・新宿校・池袋校・渋谷校・八重洲校・横浜校・大宮校・津田沼校・名古屋校・京都校・梅田校・なんば校・神戸校・広島校・福岡校

※クラスによっては定員に達している場合もありますので、事前に各校受付にお問い合わせください。

※地区によって開講していないコース・科目があります。TAC WEB SCHOOL で公開している「日程表」をご確認ください。

●教室講義日程

TAC WEB SCHOOL で公開している「日程表」をご確認ください。

●スクーリング手続（※予約不要）

①「通信講座会員証」およびスクーリングを希望される講義に必要なテキスト類を必ずお持ちください。

②スクーリング時に来校された校舎の受付もしくは掲示にて実施教室を確認し、該当の教室へお越しください。

※発送日程の関係で、必要なテキスト類もしくは会員証がまだお手元に届いていない場合は、スクーリング希望校舎受付にてその旨お申し出ください。テキスト等の貸出をいたします。

③スクーリング時に実施したテスト類は、P45 に記載した答案提出方法に基づきご提出ください。なお、早期返却をご希望する場合は、次の事項を確認の上、教室講座担当講師へ答案および返信用封筒をご提出ください。教室講座担当講師へ提出した答案については、採点のみで答案作成指導は行いませんのでご注意ください。

1) 返信先住所・氏名を記入した返信用封筒（定形外封筒）をご用意いただき、下記を参照に切手を貼付ください。宛名の不備や切手の不足等があると、返却が遅れたり、到着しない場合がありますので、ご注意ください。

★答案枚数（目安）～10 枚…140 円切手、～22 枚…180 円切手

※郵便料金の改訂などにより金額が変わる可能性がございます。

2) 提出答案と 1) の封筒をホチキス留めし、答案に「スクーリングにつき、郵送返却を希望します」と明記ください。

3) 教室講座担当講師にご提出ください。

※スクーリングにて答案を提出された場合で、再度答案を送付された場合、採点はいたしかねますので予めご了承ください。

4) 答案の提出は、教室講座担当講師への提出、または郵便による提出のいずれか 1 回となります。

★教育訓練給付制度ご利用の方がスクーリングされる場合のご注意★

提出率の対象となる答練の回をスクーリングされた場合、答案は教室で提出せず、通常通り「データファイル」と一緒に郵送にてご提出ください。教室で提出された場合、修了要件である提出回数としてカウントされません。

上記③ 1) ～ 3) の郵送返却の手続をして教室で提出した場合、郵送返却されますが、給付制度の提出回数としてはカウントされませんのでご注意ください。

日程表

1. 日程表のご案内

P51

1 日程表のご案内

1. 日程表

2027 年合格目標コースの日程表は、TAC 税理士講座ホームページ等で公開します。

講義期間	公開時期	公開場所
2026 年 8 ～ 12 月期	2026 年 7 月下旬	●TAC 税理士講座 ホームページ https://www.tac-school.co.jp/kouza_zeiri/nittei.html
2026 年 12 ～ 2027 年 4 月期	2026 年 10 月下旬	
2027 年 5 ～ 7 月期	2027 年 3 月上旬	

2. 日程表の案内項目

- 教室講座／講義日程
- ビデオブース講座／視聴開始日程
- Web 通信講座 (Web フォロー)／配信開始日程
- オンラインライブ通信講座 (アーカイブフォロー)／配信開始日程
- Web 通信講座・オンラインライブ通信講座・DVD 通信講座・
資料通信講座／教材発送日程
- 各回の学習テーマ

巻末

1. N E X T割引のご案内
2. お問い合わせ先一覧
3. T A C M A P

ご存知ですか? TAC会員なら受講料が5%OFF!

NEXT割引

5%
OFF

こんな人に
オススメ

- 学習した知識を活かしダブルライセンスを狙いたい
- 上位資格をめざし更なるステップアップをしたい
- 時間の確保ができる今新たな資格に挑戦したい

TACでは、他の資格に意欲的に挑戦する受講生の方々を応援します。
当割引制度は、次の資格講座を受講する際に通常受講料の5%OFFで
お申込みできる制度です。多くのTAC会員が活用している当制度を
ぜひご利用ください。

お申込みは受付窓口または  **受付** で!

TACお申込みサイト

対象者・
対象コース

- 「0」または「9」で始まる10桁の会員番号をお持ちのTAC会員の方で、且つ2014年4月1日以降のTACのお申込履歴がある方が対象となります。
- NEXT割引は各資格講座の各受講メディアの「本科生」「パック生」「コース生」を対象とさせていただきます。NEXT割引の対象になるかどうか不明の場合は各校受付窓口へ直接お問い合わせください。

利用方法

- 各校受付窓口でお申込みされる際は、会員証をご持参ください。
- e受付でお申込みされる際は、登録手続きが必要となります。また、割引適用には条件があります。詳細はe受付サイトの「割引について」をご確認ください。
- 郵送でお申込みされる際は、必ず会員証のコピーを封書に同封してください。

注意事項

※同一講座内の再受講や継続受講で当割引制度を利用することはできません。またTACで実施する他の割引制度との併用はできません。なお、「早期申込割引」などの、どなたでもご利用いただける期間限定の「キャンペーン受講料」との併用は可能です。

※NEXT割引の対象者および割引率は、予告なく変更となる場合がございます。

※すでにお申込みされた講座・コースについて、遡っての返金等の対応はいたしかねます。

資格の学校 **TAC**

2021年10月現在

❖ お問い合わせ先一覧 ❖

「TAC利用ガイド」「税理士講座受講ガイド」「TAC WEB SCHOOL」等をご覧の上でご不明な点がございましたら、お手数ですがお問い合わせをお願いいたします。

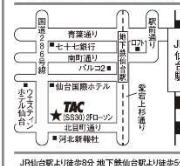
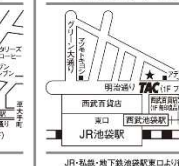
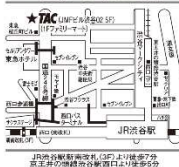
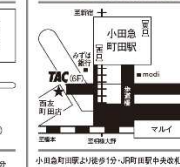
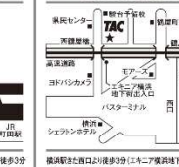
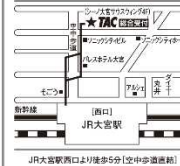
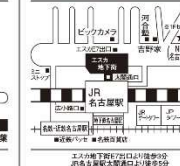
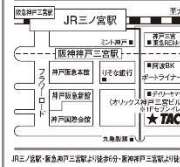
なお、よくあるお問い合わせをまとめたサイトもご用意していますので、ご参照ください。

お問い合わせ窓口一覧・よくあるご質問

<https://www.tac-school.co.jp/toiawase>

お問い合わせ内容	お問い合わせ先	営業時間
教材内容、学習内容の質問に関して	通学メディア・通信メディア共通編 P12 15 「質問・相談について」をご参照ください。	
TAC WEB SCHOOL のマイページ登録に関して	0120-551-980 ws@tac-school.co.jp	平日・土曜・祝日 10:00~17:00 ※日曜・年末年始等を除く
TAC WEB SCHOOL の操作に関して	0120-065-355 ws@tac-school.co.jp	
通信講座の教材発送に関して	0120-509-194 tushin@tac-school.co.jp	
通信答案、教育訓練給付制度提出対象答案に関して (公開模試を除く)	03-5276-8534	平日 10:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日休業
受講申込に関して	各校舎受付 TAC MAPを参照してください。 ※インターネット申込はこちら https://ec.tac-school.co.jp/	※校舎により営業時間が異なります。 詳細は各校舎のHPをご確認ください。
各講座パンフレットの請求に関して	TACカスタマーセンター 0120-509-117	10:00~17:00
TAC出版書籍のご購入に関して	TAC出版 オンラインストア https://bookstore.tac-school.co.jp/	—

※営業時間は変更となる場合もございますのであらかじめご了承ください。

札幌校 〒060-0063 札幌市中央区南三区南4丁目番地2 アール・モビルビル5F ☎011(242)4477(代)  さっぽろ地下鉄有明線小樽4丁目駅より徒歩2分 地下鉄すすきよ線南4丁目駅より徒歩3分	仙台校 〒980-0027 仙台市青葉区中央4丁目番地1号 8330 2F ☎022(266)7222(代)  JR仙台駅より徒歩8分 地下鉄仙台駅より徒歩5分	水道橋校 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-9-17 KM駿河台ビル5F ☎03(6387)1111(代)  JR有明線大塚駅より徒歩4分 JR有明線大塚駅より徒歩4分	新宿校 〒160-0023 新宿区西新宿1-21-1 新宝ビル5F ☎03(5322)1040(代)  JR有明線大塚駅より徒歩4分 地下鉄丸の内線大塚駅より徒歩5分	早稲田校 〒169-0071 新宿区戸塚町1-101-16 早稲田ビル5F ☎03(5287)4940(代)  JR有明線大塚駅より徒歩4分 地下鉄丸の内線大塚駅より徒歩5分	池袋校 〒171-0022 豊島区池袋1-19-6 オリックス池袋ビル5F ☎03(5992)2850(代)  JR池袋駅より徒歩3分
渋谷校 〒150-0031 渋谷区桜丘町31-15 渋谷区立桜丘町 5F ☎03(3462)0901(代)  JR山手線渋谷駅より徒歩3分 JR山手線渋谷駅より徒歩3分	八重洲校 〒104-0031 東京都中央区京橋1-12-2 日本橋区立京橋町 5F ☎03(6228)8501(代)  JR山手線大塚駅より徒歩4分 JR山手線大塚駅より徒歩4分	立川校 〒190-0012 立川市神前1-14-10 青井ビル10F ☎042(528)8898(代)  JR山手線大塚駅より徒歩4分 JR山手線大塚駅より徒歩4分	中大駅前校 〒192-0051 八王子市中央町216-1 中央ビル5F ☎042(678)7210(代)  JR山手線大塚駅より徒歩4分 JR山手線大塚駅より徒歩4分	町田校 〒194-0022 町田市森野1-14-17 町田ビル5F ☎042(721)2202(代)  JR山手線大塚駅より徒歩4分 JR山手線大塚駅より徒歩4分	横浜校 ※校舎オープン 〒221-0035 横浜市磯子区磯子2-23-2 15Fアパレルビル5F ☎045(451)6420(代)  JR山手線大塚駅より徒歩4分 JR山手線大塚駅より徒歩4分
日吉校 〒223-0062 横浜市港北区日吉本町1-5-21 ☎045(560)6166(代)  JR山手線大塚駅より徒歩4分 JR山手線大塚駅より徒歩4分	大宮校 〒330-0854 さいたま市大宮区大宮1-10-17 シンパル大宮ビル5F ☎048(644)0676(代)  JR大宮駅より徒歩5分 (空中歩道直結)	津田沼校 〒275-0016 葛飾区津田沼1-23-1 イオンモール津田沼5F ☎047(470)1831(代)  JR有明線大塚駅より徒歩4分 JR有明線大塚駅より徒歩4分	名古屋校 〒463-0014 名古屋市中村区大塚1-1-7 名古屋ビル5F ☎052(559)5555(代)  JR山手線大塚駅より徒歩4分 JR山手線大塚駅より徒歩4分	京都校 〒600-8421 京都市下京区東山町199-1 同和ビル5F ☎075(351)1122(代)  地下鉄西京橋駅より徒歩2分	梅田校 〒530-0015 大阪市北区中津2-4-12 梅田ビル5F ☎06(3631)5781(代)  JR山手線大塚駅より徒歩4分 JR山手線大塚駅より徒歩4分
なんば校 〒542-0076 大阪市中央区難波2-1-2 大阪生命ビル5F ☎06(6211)1422(代)  地下鉄なんば駅より徒歩3分	神戸校 〒651-0087 神戸市中央区東川崎町1-10 オックス神戸三宮ビル5F ☎078(241)4895(代)  JR三宮駅より徒歩5分 阪神三宮駅より徒歩5分	広島校 〒730-0011 広島市中区基町1-10 合人ビル広島駅前ビル5F ☎082(224)3355(代)  広島電気ビル5F 電車の正面	福岡校 〒810-0001 福岡市中央区天神1-15-6 緑ビル5F ☎092(724)6161(代)  地下鉄天神駅より徒歩3分		

【TAC提携校】

群馬校 中央総合学院内 〒371-0005 群馬県市街1-14-1 JR前橋駅より徒歩2分 ☎027(226)1823(代)	富山校 富山朝日ビジネス専門学校 〒930-0241 富山県市街3-576 国際センタービル5F JR富山駅より徒歩5分 ☎0766(55)5513(代)	金沢校 エルアンドエルシステム北陸 〒921-0044 金沢市市街7-20-1 JR金沢駅より徒歩5分 ☎076(245)7605(代)	岡山校 有明カレッジサービス 〒700-0023 岡山県市街1-8-18 山陽ビル5F JR岡山駅より徒歩5分 ☎086(236)0225(代)	福山校 有明カレッジサービス 〒720-0066 福山県市街30-1 福山ビル5F JR福山駅より徒歩5分 ☎084(991)0250(代)	高松校 ※校舎オープン 有明カレッジサービス 〒760-0024 高松県市街11-6 カニービル5F JR高松駅より徒歩10分 有明カレッジサービスビルより徒歩5分 ☎087(822)3313(代)
徳島校 有明カレッジサービス 〒770-0032 徳島県市街12-7 マスビル5F JR徳島駅より徒歩1分 ☎088(653)3588(代)	大分校 学校法人 前川学園内 〒870-0039 大分県市街1-5 大分ビル5F JR大分駅より徒歩5分 ☎097(546)5224(代)	熊本校 桜理士法人 東京設計グループ 〒960-0044 熊本県市街1-29 フレスコビル5F JR熊本駅より徒歩5分 ☎096(323)3622(代)	宮崎校 宮崎ビジネス公衆 専門学校内 〒980-0012 宮崎県市街2-27 JR宮崎駅より徒歩5分 ☎0985(22)6881(代)	沖縄校 ●那覇校舎 〒902-0007 沖縄県市街44-4 安室ビル5F ●中部校舎 〒904-0002 沖縄県市街1-33 ☎098(864)2670(代)	

★最新の情報はHPIにてご確認ください★
<https://www.tac-school.co.jp/tacmap.html>

校舎ごとに営業時間等が異なります。詳しくは各校舎までお問い合わせください。